1. リハビリテーション科スタッフ数

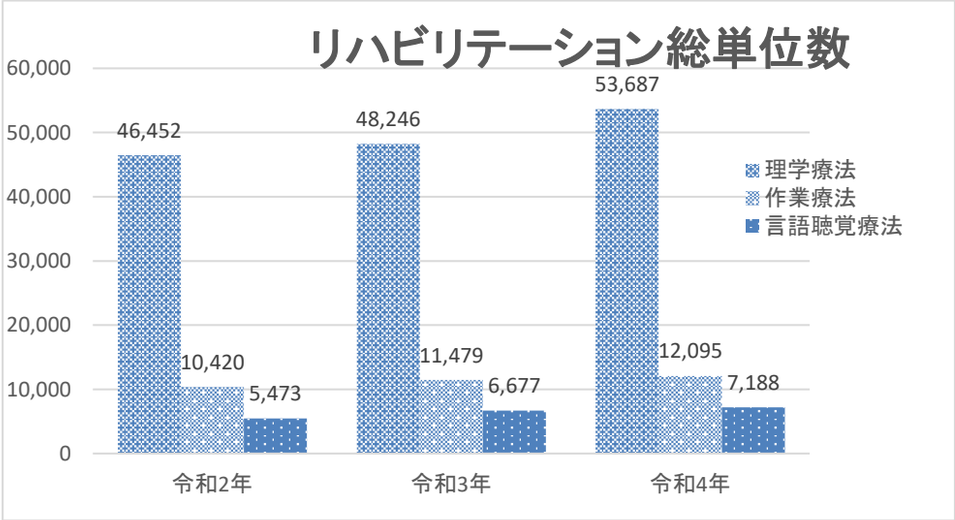
令和4年度（2022年度）

PT	OT	ST
17名	4名	3名

PTは令和4年度12月末で1名退職し計*16*名。

2. リハビリテーション総単位数

	令和2年	令和3年	令和4年
理学療法	46,452	48,246	53,687
作業療法	10,420	11,479	12,095
言語聴覚療法	5,473	6,677	7,188
合計	**62,345**	**66,402**	**72,970**



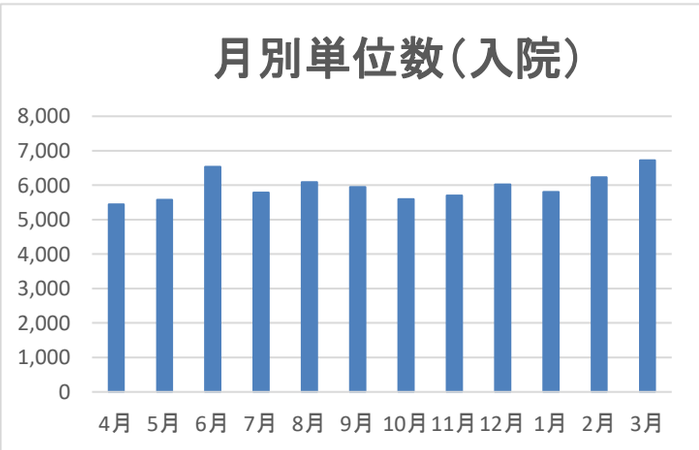
3. 月別単位数

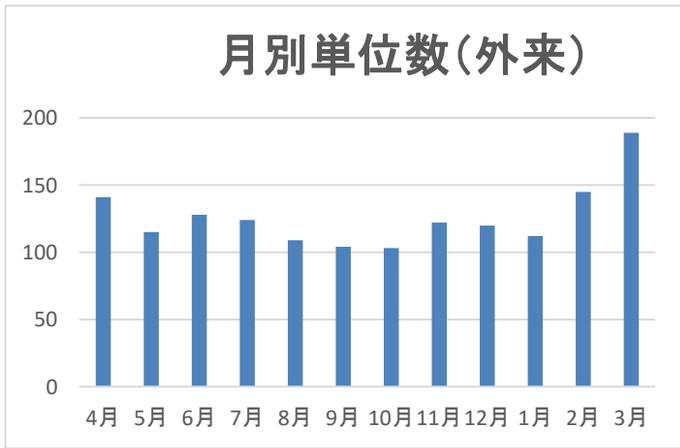
	入院				外来			
	PT	OT	ST	合計	PT	OT	ST	合計
4月	3,870	957	617	5,444	129	12	0	141
5月	4,091	938	549	5,578	112	3	0	115
6月	4,809	1,089	640	6,538	123	5	0	128
7月	4,223	1,042	517	5,782	121	3	0	124
8月	4,505	958	623	6,086	109	0	0	109
9月	4,352	997	596	5,945	102	0	2	104
10月	3,964	1,008	622	5,594	103	0	0	103
11月	4,310	936	452	5,698	122	0	0	122
12月	4,419	974	632	6,025	120	0	0	120
1月	4,250	928	630	5,808	104	8	0	112
2月	4,561	1,072	601	6,234	136	5	4	145
3月	4,871	1,153	702	6,726	181	7	1	189
合計	**52,225**	**12,052**	**7,181**	**71,458**	**1,462**	**43**	**7**	**1,512**

入院患者への介入単位数は昨年と比較し増加している。
（64,727件から71,458件）

当院のリハビリテーション科は入院患者を対象としているが、一部外来患者にも対応している。

令和4年10月より人工関節置換術（THA、TKA）の術前1回、術後は必要に応じて半年間、診察時に対応を実施している。



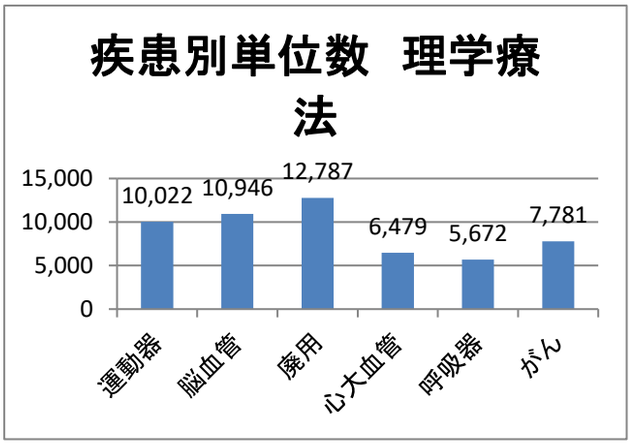


4. 疾患別単位数

2022年度

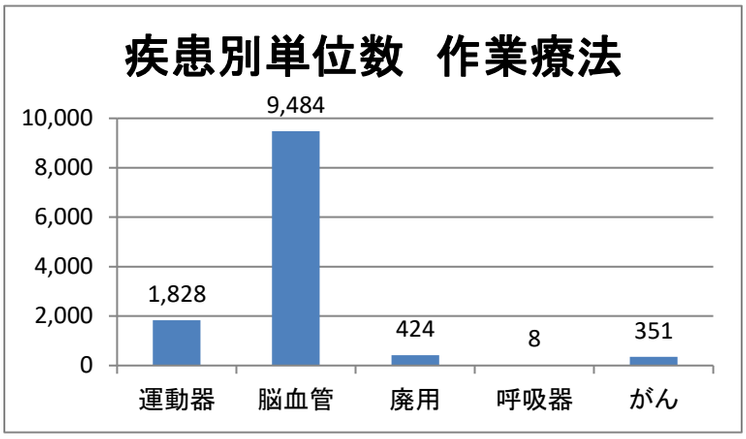
(1) 理学療法

	運動器	脳血管	廃用	心大血管	呼吸器	がん
4月	772	812	717	448	459	791
5月	719	842	999	518	413	712
6月	834	1084	1007	645	440	922
7月	930	1002	816	421	404	771
8月	754	1014	1226	476	468	676
9月	710	811	1387	559	339	648
10月	757	615	1229	495	390	581
11月	902	899	1003	479	551	598
12月	867	886	1076	538	547	625
1月	880	774	1261	491	438	510
2月	944	1006	1042	656	602	447
3月	953	1201	1024	753	621	500
合計	**10,022**	**10,946**	**12,787**	**6,479**	**5,672**	**7,781**



(2) 作業療法

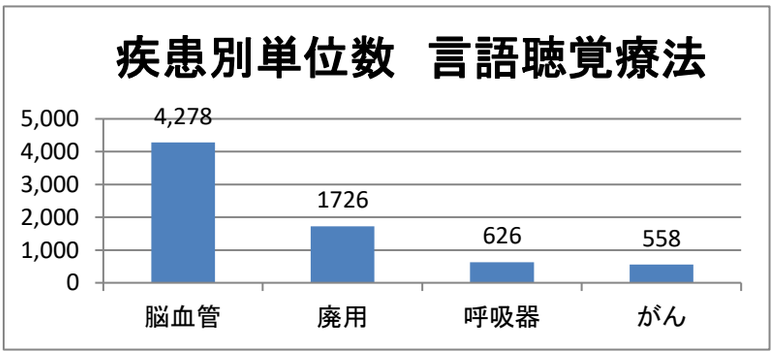
	運動器	脳血管	廃用	呼吸器	がん
4月	88	812	24	8	37
5月	117	789	5	0	30
6月	143	832	50	0	69
7月	188	803	15	0	39
8月	177	761	0	0	20
9月	197	754	13	0	33
10月	223	719	34	0	32
11月	191	716	27	0	2
12月	174	759	21	0	20
1月	126	726	39	0	45
2月	103	889	82	0	3
3月	101	924	114	0	21
合計	**1,828**	**9,484**	**424**	**8**	**351**



(3) 言語聴覚療法

	脳血管	廃用	呼吸器	がん
4月	374	150	56	37
5月	338	132	63	16
6月	471	110	44	15
7月	370	43	46	58
8月	452	109	33	29
9月	404	110	7	77
10月	325	217	19	61
11月	258	90	54	50
12月	283	199	79	71
1月	273	211	87	59
2月	311	169	87	38
3月	419	186	51	47
合計	**4,278**	**1726**	**626**	**558**

令和1年までSTは、主に脳血管疾患による高次脳機能障害や構音障害、摂食嚥下機能障害に対して介入していた。令和2年10月に、STが1名増員されたことで、誤嚥性肺炎や食道がんに対しての介入が一部可能となった。そのため、廃用症候群リハビリテーション、呼吸器リハビリテーション、がんリハビリテーションの単位数が増加している。また、摂食嚥下機能の低下が疑われる患者に関しては、昨年に引き続き、NSTや嚥下ラウンドで摂食嚥下認定看護師と対応している。



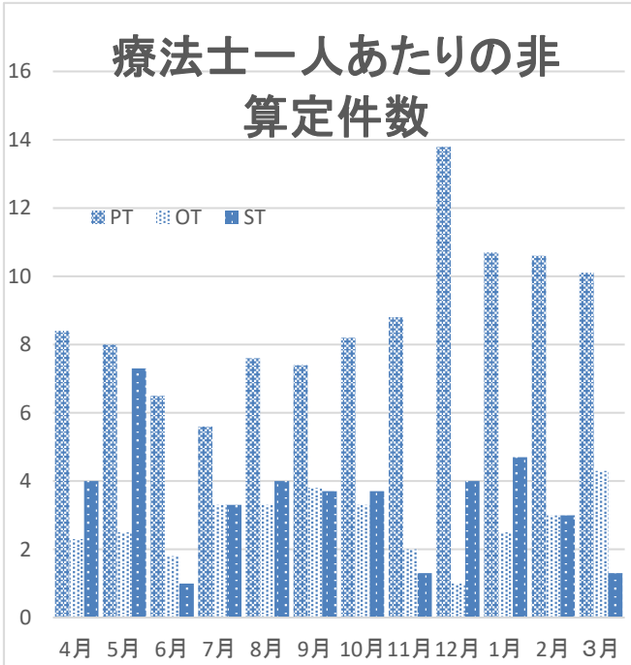
2022年度

5. 非算定件数

治療時間が20分に満たないもの、がんりハビリテーション実施計画書が未完成のため治療点数がとれないもの、緩和ケア病棟、乳がん術後、リンパ浮腫対応等の件数である。
精神科病棟の患者については令和4年4月より全ての患者について疾患別リハビリテーションが算定可能となった。

(1) 20分未満、がんりハビリテーション実施計画書が未完成のため治療点数がとれない件数

	PT		OT		ST	
	一人	全体	一人	全体	一人	全体
4月	8.4	143	2.3	9	4	12
5月	8	136	2.5	10	7.3	22
6月	6.5	110	1.8	7	1	3
7月	5.6	95	3.3	13	3.3	10
8月	7.6	129	3.3	13	4	12
9月	7.4	125	3.8	15	3.7	11
10月	8.2	139	3.3	13	3.7	11
11月	8.8	149	2	8	1.3	4
12月	13.8	234	1	4	4	12
1月	10.7	171	2.5	10	4.7	14
2月	10.6	170	3	12	3	9
3月	10.1	161	4.3	17	1.3	4
合計		**1,762**		**131**		**124**



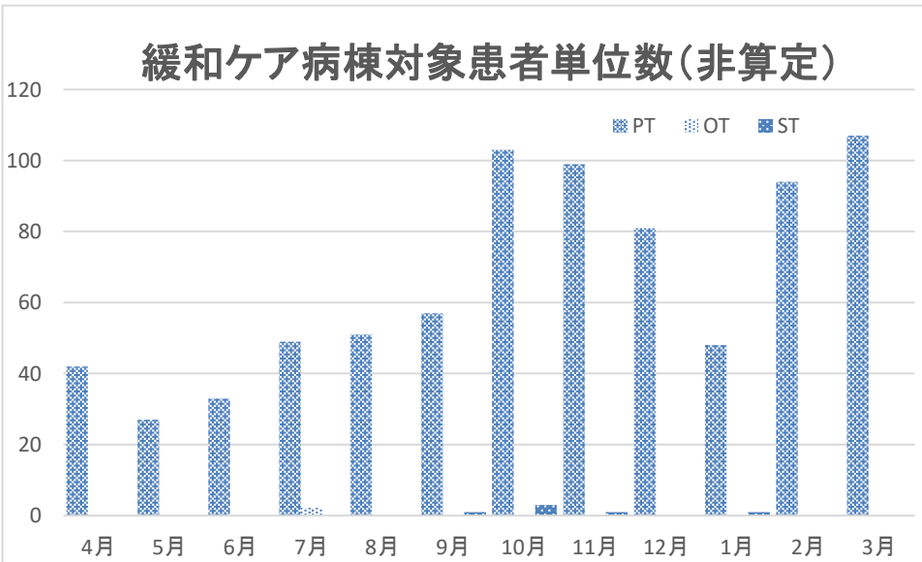
(2) 緩和ケア病棟対象患者に対する実施単位数

単位数	PT	OT	ST
4月	42	0	0
5月	27	0	0
6月	33	0	0
7月	49	2	0
8月	51	0	0
9月	57	0	1
10月	103	0	3
11月	99	0	1
12月	81	0	0
1月	48	0	1
2月	94	0	0
3月	107	0	0
合計	**791**	**2**	**6**

緩和ケア病棟は、包括医療の枠組みであるため個別リハビリテーションを実施しても算定することができない。その為、当院では、一般病棟から緩和ケア病棟に転棟になった時点で、多職種でのカンファレンスにてリハビリの必要性を検討している。

しかし、最近では、緩和ケア病棟入棟後も自宅退院を目指す方が増えているため、リハビリの処方も多い。 リハビリ処方件数は令和2年度は44件、令和3年度は51件、令和4年度は54件と年々増加している。

また、令和3年2月より新規処方患者に関しては、専任PTが担当することにより、より充実した、患者支援が実施できている。



(3) その他外来の患者に対する実施件数(非算定)

2022年度

・リンパ浮腫外来

9件

リンパ浮腫外来では　9件の依頼に対応。初回介入は非算定にて実施した。
継続して介入が必要と判断した患者5名のうち、リンパ浮腫複合的治療料の算定が適切な患者1名、運動器リハビリテーションの算定が適切なものは4名であった。

・乳がん術後外来

34件

術後退院し、初期外来時に評価および自主練習指導を行っている。
がんリハビリテーションは外来では算定できないため、非算定で介入している。

・食道がん術前術後外来

20件

令和4年4月より食道がん術前、術後にリハビリテーションの介入を開始している。
入院時にはがんリハビリテーションとして算定しているが、術前術後は非算定で介入している。